

熊本博物館 秋季企画展
二つの「くまもと城」展 関連シンポジウム

城が語る豊臣の時代

開催日時 **2026年11月7日(土)**
開場 12:15 開始 12:30 終了 16:40

会場：市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)

参加費・資料代：無料 定員：200 名

主催：熊本博物館

参加申し込み▶



本シンポジウムは、令和 8(2026)年度熊本博物館秋季企画展
「二つの『くまもと城』—豊臣の衝撃、戦国肥後の終焉—」の関連事業として開催します。

戦国時代から豊臣政権の時代へ——。
この大きな時代の転換は、城の姿や役割をどのように変えていったのでしょうか。

本シンポジウムでは、肥後における城郭の変化を手がかりに、
全国各地に築かれた豊臣期の城郭にも目を向けます。

さまざまな地域の事例を比較しながら、
豊臣政権のもとで城が果たした政治的・軍事的な役割や、
その背景にあった社会の変化を多角的に考えます。

熊本城天守台跡出土
「庚寅八月日」銘滴水瓦
当館蔵

プログラム

- 12:15 開場
- 12:30 開催挨拶
- 12:35 趣旨説明・基調報告(40分)
下高 大輔 (熊本博物館 学芸員)
「城から見た肥後の戦国、豊臣の衝撃—最近の「隈本古城」の研究成果から—」
- 13:15 講演①(40分)
十文字 健 氏 (奈良県大和郡山市 まちづくり戦略課 文化財保存活用室長)
「豊臣家の城—秀長の郡山城を中心に—」
- 休憩10分 -
- 14:05 講演②(40分)
乗岡 実 氏 (元 岡山市教育委員会 文化財課長)
「豊臣政権、重臣の城—宇喜多秀家の岡山城と毛利輝元の広島城—」
- 14:45 講演③(40分)
五十川 雄也 氏 (大分市教育委員会 文化財課 参事)
「肥後大友領の首府—豊後府内と大友館—」
- 休憩10分 -
- 15:35 総合セッション「城が語る豊臣の時代」
- 16:35 閉会

隈本古城
「天正十八年」銘軒平瓦
熊本県教育委員会蔵

背景(上から)：隈本古城石垣、小座敷之丸南西隅／熊本城跡広域、赤色立体図(熊本市文化財課提供)

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM